学校教育目標　〇自ら学び、考える子　〇心豊かで、思いやりのある子　〇たくましく生きる元気な子
（え　ど　が　わ）

EDOGAWA

春日部市立江戸川小中学校
学 校 だより４ 月 号

令和7年4月8日
児童生徒数　195名

江戸川小中学校ホームページ　https://schit.net/kasukabe/edogawa/

どの子も光り輝く　ー学校の新しい一年が始まりますー

校長　鈴木　美江

草木の春化粧も日一日と色濃くなり、小枝を揺らすそよ風が出会いの喜びを歌っています。保護者の皆様、お子さまのご入学、ご進級、おめでとうございます。このたび、菊野大校長の後任として着任しました鈴木美江（すずきよしえ）と申します。よろしくお願いいたします。

さて、本年度は１４名の１年生を迎え、１２学級１９５名でのスタートとなりました。子供たちはといえば、ちょっぴりの不安を抱えながらも、新たな学校生活への期待で胸を膨らませていることでしょう。

令和７年度も、学校教育目標「自ら学び、考える子　心豊かで、思いやりのある子　たくましく生きる、元気な子」を掲げ、「真剣・集中の学びの姿と自信を育てる地域に根ざした学校」をめざす学校の姿として、教育活動を推進してまいります。春日部唯一の義務教育学校である本校は、９年間を見通した指導により、小中の教員が協働し、地域と協働して行う学習活動等を通して、児童生徒の確かな学力、豊かな人間性、健やかな体を伸ばす教育を推進してまいります。

「日本のペスタロッチ」といわれた有名な教育者　東井義雄先生（1912 ～ 1991）の詩に「どの子もこどもは星」があります。

どの子も　こどもは星

東井義雄

どの子も
子どもは星
みんなそれぞれが
それぞれの光をもってまたたいている
光を見てくださいと
パチパチ目ばちしながらまたたいている
光を見てやろう
目ばちにこたえてやろう
見てもらえないと
子どもの星は
光を消す
目ばちをやめる
光を消しそうにしている星はないか
目ばちをやめかけている星はないか
光をみてやろう
目ばちにこたえてやろう
そして
天いっぱいに
子どもの星を輝かせよう

目ばち＝まばたき

子供はどの子も光をもっています。光をみてもらえないと、その光を消してしまいます。自分の光をみてもらえる大人（先生・親・地域の方々）がいる、一緒に光を出せる仲間がいる、光を認め合えるクラスがあることで子供達は安心して光を発します。光の出し方や強さ、色合いはみんな違います。多くの方向から見方をかえて、時には、一人ではなく複数の目で光を見つけ、子供の星がいっぱいに輝くよう導いてまいります。

学校と家庭と地域が共に手を取り、協力して子供達を育んでいく事が大切です。今年度も、保護者の皆様・地域の皆様の様々な場面でのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和７年度当初の人事異動について

離任式

３月３１日（月）、お世話になった先生方に感謝を伝え最後のお別れをしました。校長先生のお話にあった、私たちにお似合いの服（良さ）を増やしたり、よりよくしたりしていきましょう。

４月の生活目標

しっかりしたあいさつ
返事をします。

令和７年度どうぞよろしくお願いします。